



“地域のことは地域で考えよう”

2015年11月25日

## おきぎん県内景況・速報 2015年10月

### 一県内景況は、拡大している一

#### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数は下回る。

#### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

#### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

#### ■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

### 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2015年10月分)

◎2015年10月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

10月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は雑貨や衣料品などが好調で、前年同月上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、冷蔵庫やテレビの売上増加などにより前年同月上回りました。新車販売台数は軽乗用車需要の減少などから前年同月を下回りました。

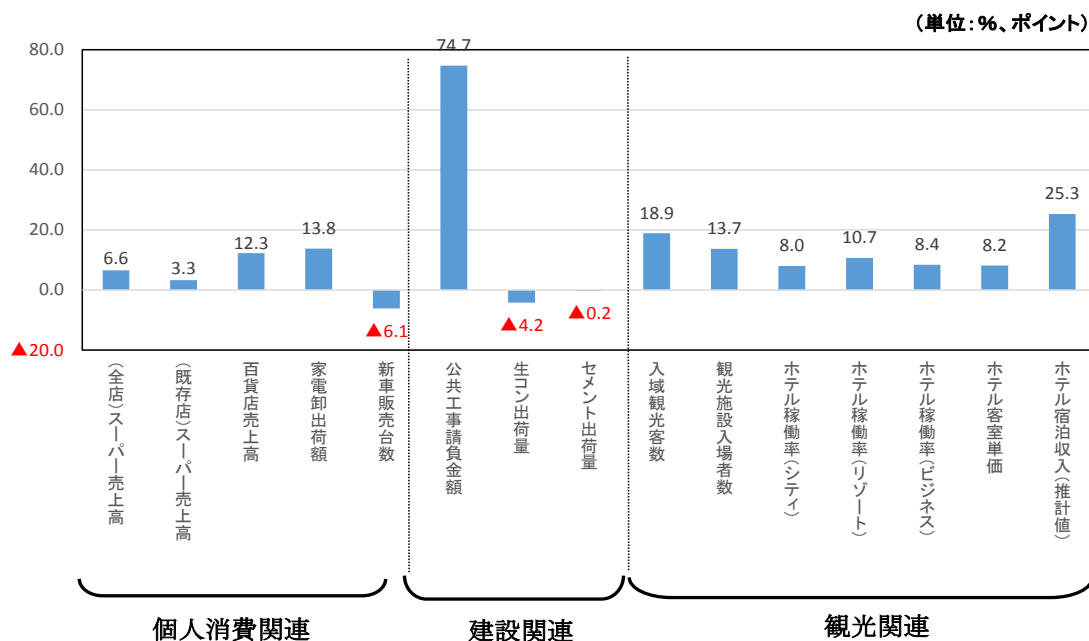
建設関連では、公共工事請負金額は、国やその他の公共的団体発注による工事増加などで前年同月上回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は37ヵ月連続で前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月上回りました。ホテル客室単価は前年同月上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から21ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



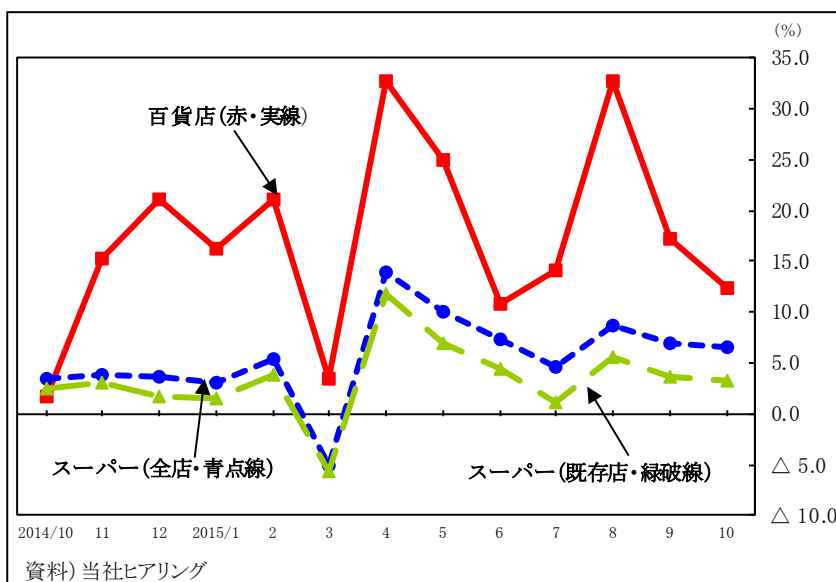


■個人消費：(やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2014/10	3.4	2.4	1.7
11	3.8	3.0	15.2
12	3.6	1.7	21.0
2015/1	3.0	1.5	16.3
2	5.4	3.8	21.0
3	△ 5.1	△ 5.6	3.5
4	13.9	11.7	32.8
5	10.1	6.9	25.0
6	7.4	4.5	10.8
7	4.6	1.1	14.2
8	8.7	5.6	32.7
9	7.0	3.7	17.3
10	6.6	3.3	12.3



注1) 前年同月比

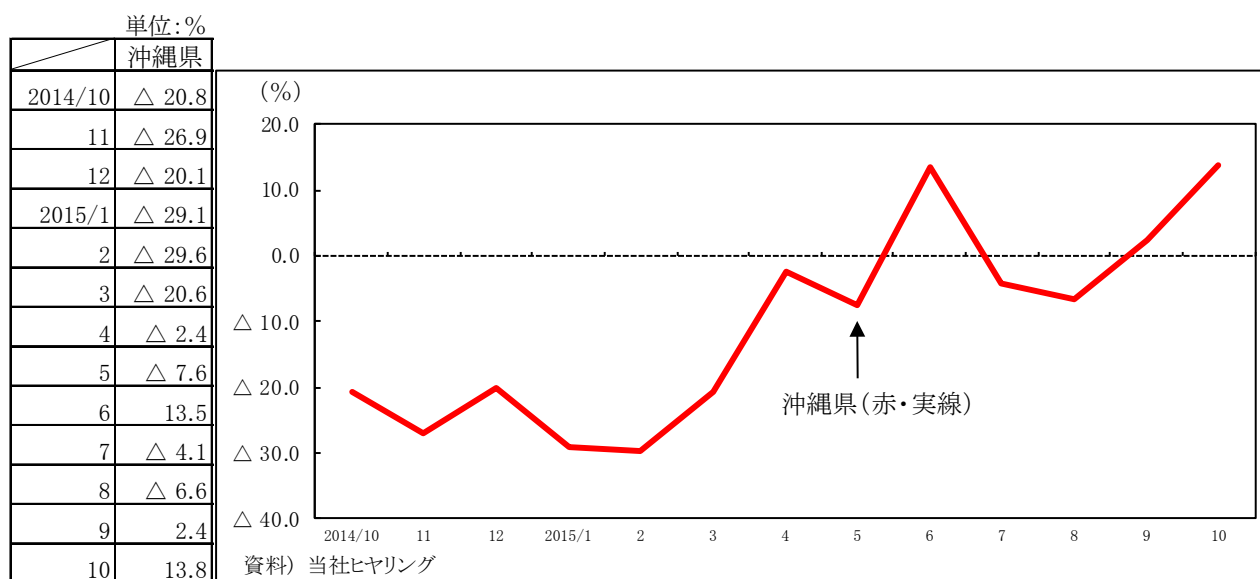
注2) スーパー売上高(既存店)については、2015年3月、4月データの誤差調整の後、修正を行なっております。本数値を参照の際には、最新のリリース情報をご覧ください。

10月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「**全店ベース(前年同月比 6.6%増)**」が7ヵ月連続で前年同月を上回りました。前年と比べて土曜日が1日多かったほか、新規出店効果などによりウェイトの高い「食料品(同 4.3%増)」や家電を含む「家庭用品(同 14.2%増)」の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

「**既存店ベース(同 3.3%増)**」は店舗改装による集客効果などから、7ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 1.7%増)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 8.7%増)」は白物家電(洗濯機、冷蔵庫)やテレビの売れ行きが堅調だったほか、訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類等)の増加などから、前年同月を上回りました。また、「衣料品(同 6.4%増)」は前年に台風の影響で落ち込んだ反動に加えて、秋物衣料の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。

**百貨店売上高**は、前年と比べて土曜日が1日多かったほか、新規催事の開催による集客効果などから「雑貨」や「衣料品」などの売れ行きが好調で、前年同月を上回りました(同 12.3%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 8.1%増)」は、主力商品である「婦人服(同 4.5%増)」が、販促強化から秋物商材の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「食料品(同 1.5%増)」は、新規テナント出店や企画開催による集客効果に加えて生鮮全般の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同 52.6%増)」や「身の回り品(同 10.8%増)」は、継続的な訪日観光客需要により売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

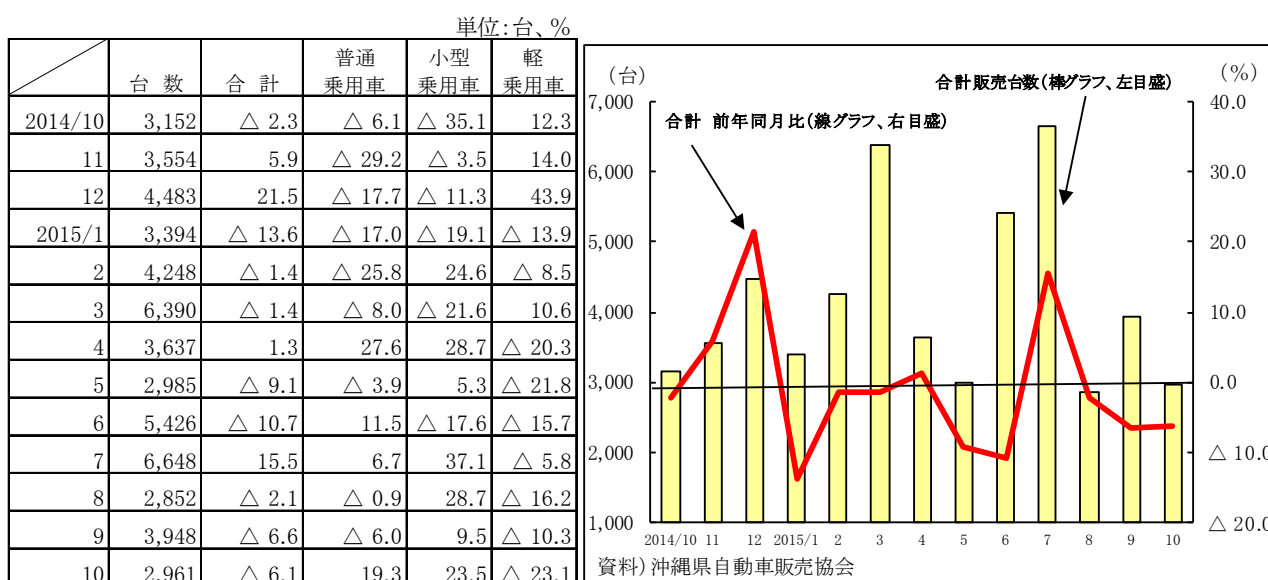
## ②家電卸出荷額…冷蔵庫やテレビの売上増加などにより、前年同月を上回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、冷蔵庫やテレビの売上増加などにより、2 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 13.8%増)。品目別では、「冷蔵庫(同 15.1%増)」、「テレビ(同 26.4%増)」、「洗濯機(同 6.9%増)」では、旧型商品の販促効果や新型商品効果などから売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「太陽光パネル(同 13.9%増)」は前年大きく落ち込んだ反動から前年同月を上回りました。一方で、「エアコン(同 30.8%減)」は前年の大口商談の反動から下回りました。

## ③新車販売台数…軽乗用車需要の減少などから、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

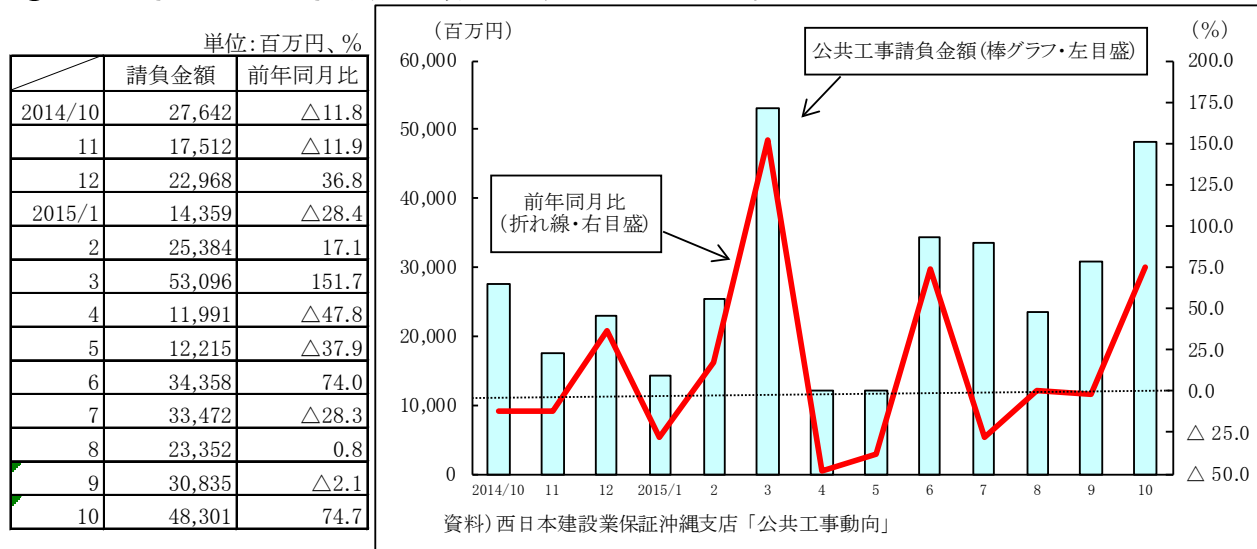
**新車販売台数**は、全体で2,961台(同 6.1%減)となり、軽乗用車需要の減少などから3 ヶ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、前年落ち込んだ反動やレンタカー需要の増加などから、「小型乗用車(同 23.5%増)」は4 ヶ月連続、「普通乗用車(同 19.3%増)」は3 ヶ月ぶりに上回りました。一方で、「軽乗用車(同 23.1%減)」は前年伸びた反動や軽自動車税増税の影響などから、7 ヶ月連続で下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



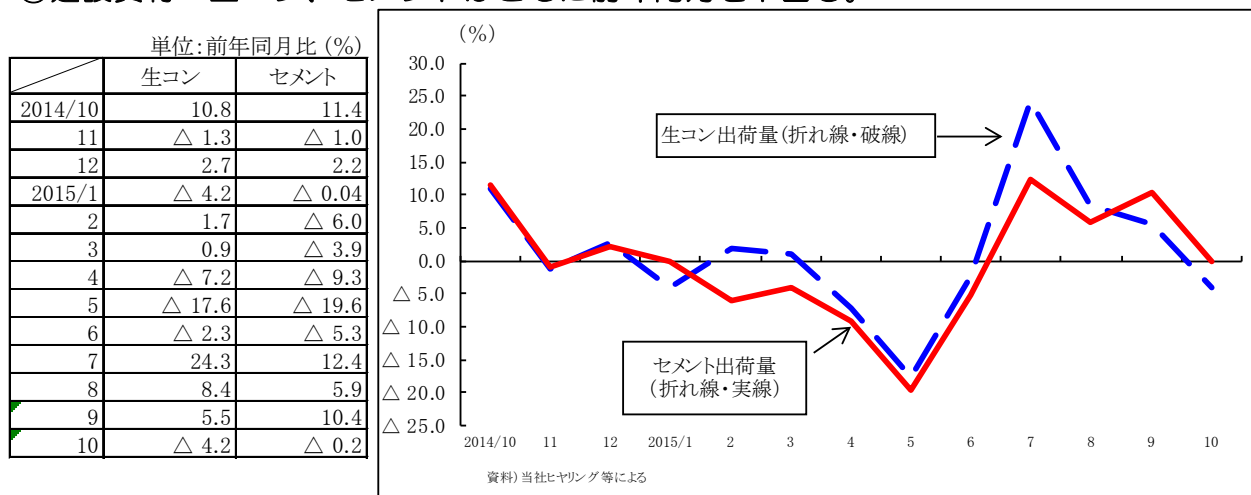
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



10月の**公共工事請負金額**は、前年同月比74.7%増の483億100万円となりました(2ヵ月ぶり増)。発注者別でみると、「国(同67.7%増)」は与那国駐屯地の新設建築工事、「市町村(同10.8%増)」は中部地区での小学校関連工事、「その他の公共的な団体(約14.2倍)」はモノレール旭橋駅周辺再開発事業などで前年同月を上回りました。一方、「独立行政法人等」や「沖縄県(同7.7%減)」は前年同月より下回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

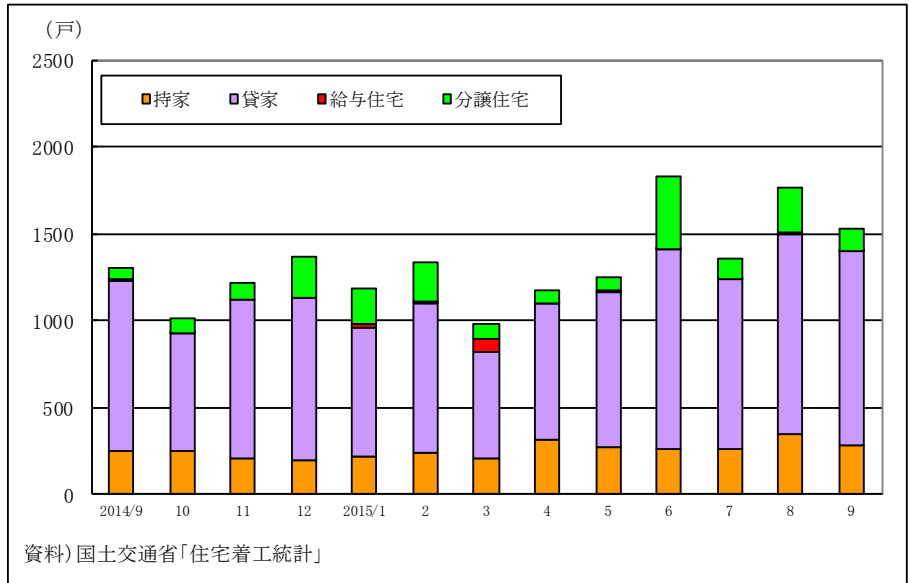


(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は4.2%減少し4ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より8.6%下回り、民間工事向け出荷も1.5%下回りました。**セメント**出荷量も0.2%減と4ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(9月)…着工戸数は前年同月を上回る。

	単位:戸、%	
	着工戸数	前年同月比
2014/9	1,301	△35.4
10	1,018	△35.6
11	1,216	△35.8
12	1,368	△4.8
2015/1	1,181	10.9
2	1,338	3.1
3	980	△36.4
4	1,172	△17.3
5	1,254	12.4
6	1,828	27.7
7	1,362	16.2
8	1,764	19.0
9	1,527	17.4



新設住宅着工戸数(9月)は、全体で前年同月比17.4%増の1,527戸と5ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同14.2%増)」に加えて、「持家(同13.8%増)」や「分譲住宅(同103.3%増)」なども前年同月を上回りました。



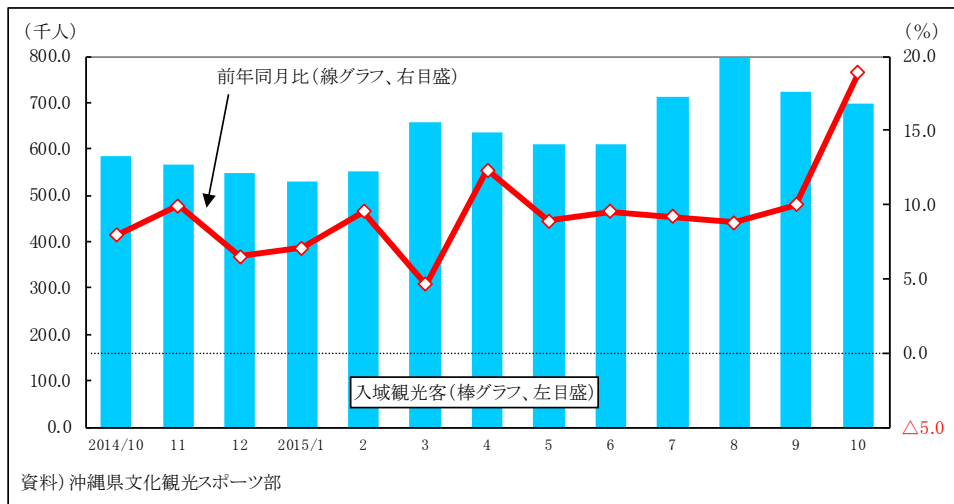
■観光関連： (良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…37ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2014/10	586.0	7.9
11	564.5	9.9
12	549.2	6.5
2015/1	530.1	7.1
2	550.9	9.5
3	659.0	4.6
4	635.4	12.3
5	611.4	8.9
6	610.0	9.5
7	714.0	9.2
8	797.5	8.8
9	724.7	10.0
10	696.8	18.9

※外国客は乗務員等を含む

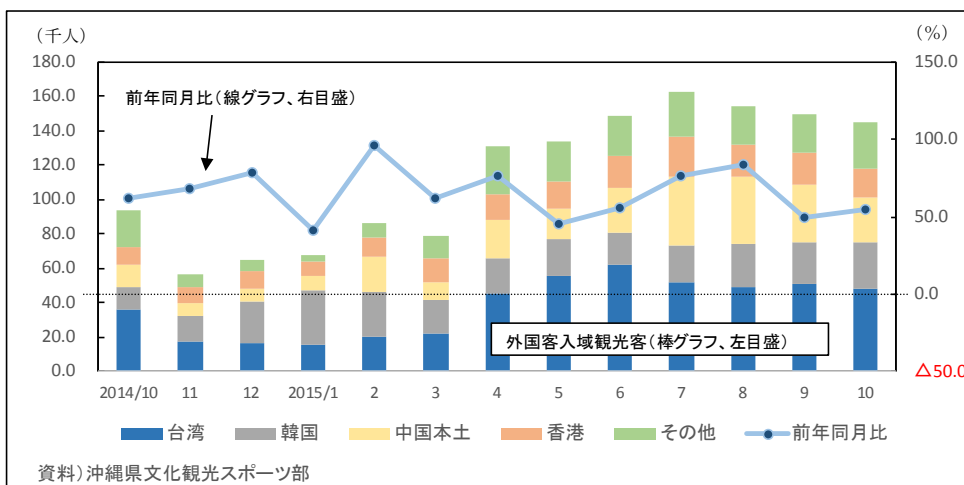


外国客 入域観光客数…27ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2014/10	93.8	62.3
11	56.4	68.4
12	64.7	78.7
2015/1	67.9	41.2
2	86.7	95.7
3	79.0	62.2
4	130.6	76.7
5	133.7	45.8
6	149.2	56.2
7	163.0	76.6
8	154.7	83.7
9	149.6	49.7
10	145.1	54.7

※外国客は乗務員等を含む



10月の入域観光客数は、110,800人多い696,800人(前年同月比18.9%増)となり、37ヵ月連続で前年同月を上回りました(10月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同12.1%増)」は551,700人と、昨年2度襲来した台風の影響が今年は無かったことや、修学旅行等の団体旅行需要が好調であったことなどから、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同54.7%増)」は、145,100人と27ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移したほか、国慶節等の連休による旅行需要の増加も加わり、前年同月を上回りました。

「台湾(同33.7%増)」「韓国(同106.1%増=約2倍)」「中国本土(同110.5%増=約2.1倍)」「香港(同47.3%増)」

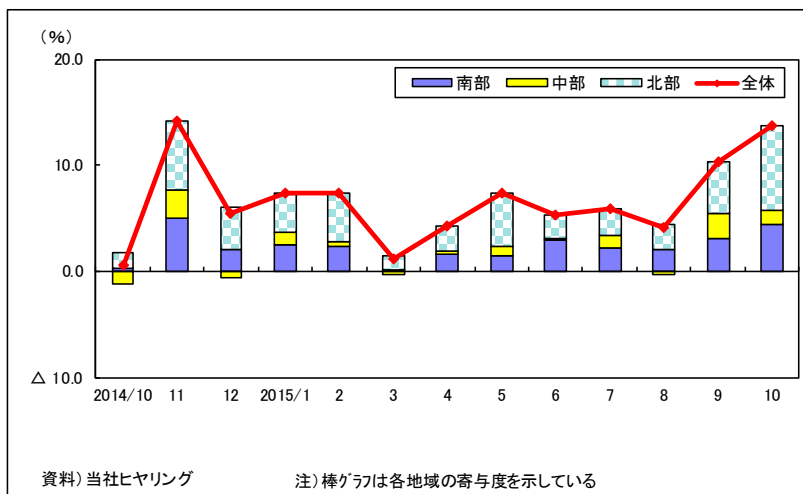
※乗務員等を除く2015年10月実績=全体679,500人(同18.4%増)、外国客127,800人(同56.8%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…20ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2014/10	0.6	0.7	△ 8.5	3.1
11	14.2	11.7	20.0	14.9
12	5.4	4.8	△ 4.0	9.0
2015/1	7.3	6.5	8.7	7.6
2	7.4	6.2	3.1	9.5
3	1.1	0.2	△ 2.2	2.9
4	4.3	4.2	2.1	5.1
5	7.3	3.4	7.0	10.9
6	5.3	7.4	1.8	4.3
7	6.0	6.4	10.1	4.8
8	4.1	6.3	△ 2.7	4.3
9	10.3	8.7	21.4	9.0
10	13.7	10.9	9.8	17.2

\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



**観光施設入場者数**は、全体で前年同月より 13.7%増加(20ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 10.9%増と 24ヵ月連続、中部は同 9.8%増と 2ヵ月連続、北部は同 17.2%増と 20ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

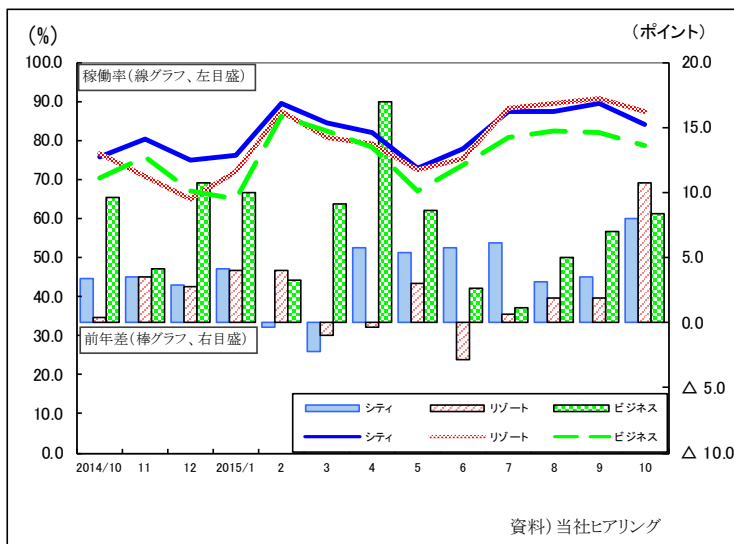
単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2014/10	75.9	76.6	70.2	3.4	0.4	9.6
11	80.1	70.6	75.7	3.5	3.5	4.1
12	74.8	64.8	67.1	2.9	2.8	10.7
2015/1	76.3	72.0	65.1	4.1	4.0	10.0
2	89.5	87.4	86.1	△ 0.3	4.0	3.2
3	84.6	80.6	82.4	△ 2.2	△ 1.0	9.1
4	82.1	79.1	78.1	5.8	△ 0.4	16.9
5	72.9	72.4	67.1	5.4	3.0	8.6
6	78.0	75.3	73.6	5.8	△ 2.9	2.6
7	87.2	88.3	80.6	6.1	0.6	1.1
8	87.5	89.4	82.2	3.1	1.9	5.0
9	89.3	90.7	82.1	3.5	1.9	7.0
10	83.9	87.3	78.6	8.0	10.7	8.4

注)シティ9ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

注)2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

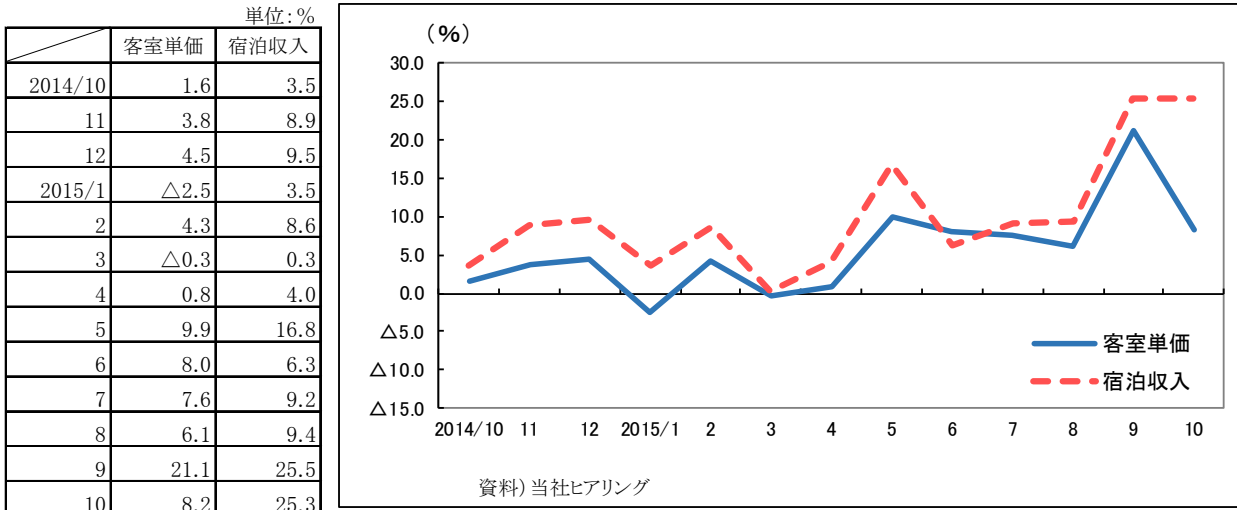
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



**県内ホテル稼働率**は、シティホテルが 83.9%と 8.0ポイント上昇(7ヵ月連続)、リゾートホテルが 87.3%と 10.7ポイント上昇(4ヵ月連続)、ビジネスホテルが 78.6%と 8.4ポイント上昇(24ヵ月連続)しました。



④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。



※対象施設数: 28施設(シティ9、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は28施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

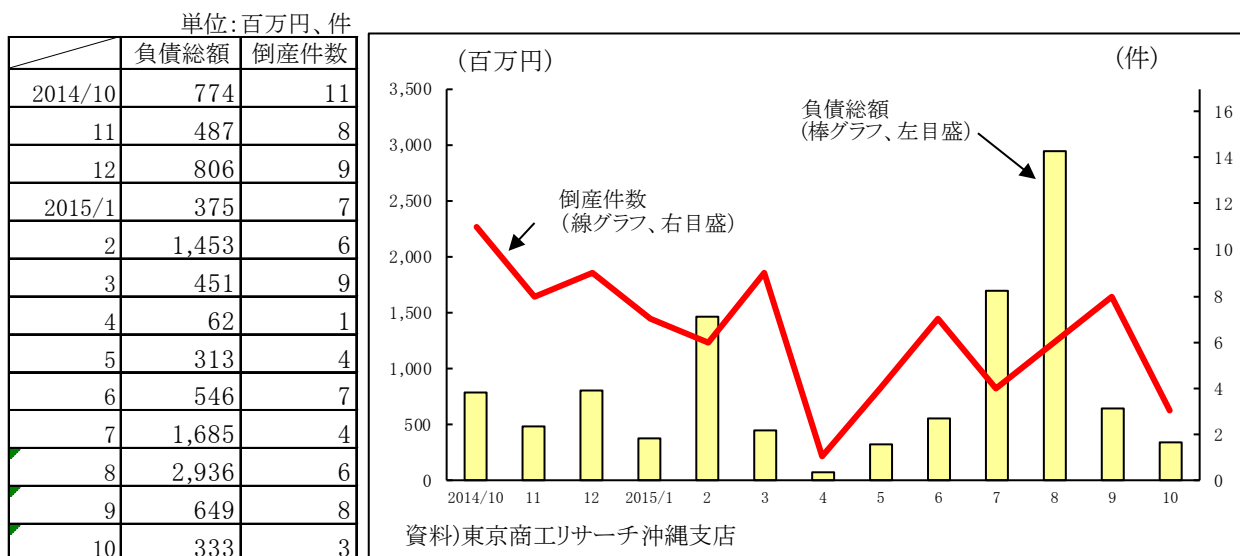
※2014年4月指標より新たに掲載

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 8.2%増と前年同月を上回り、**宿泊収入**も同 25.3%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数、負債総額は前年同月を下回る。

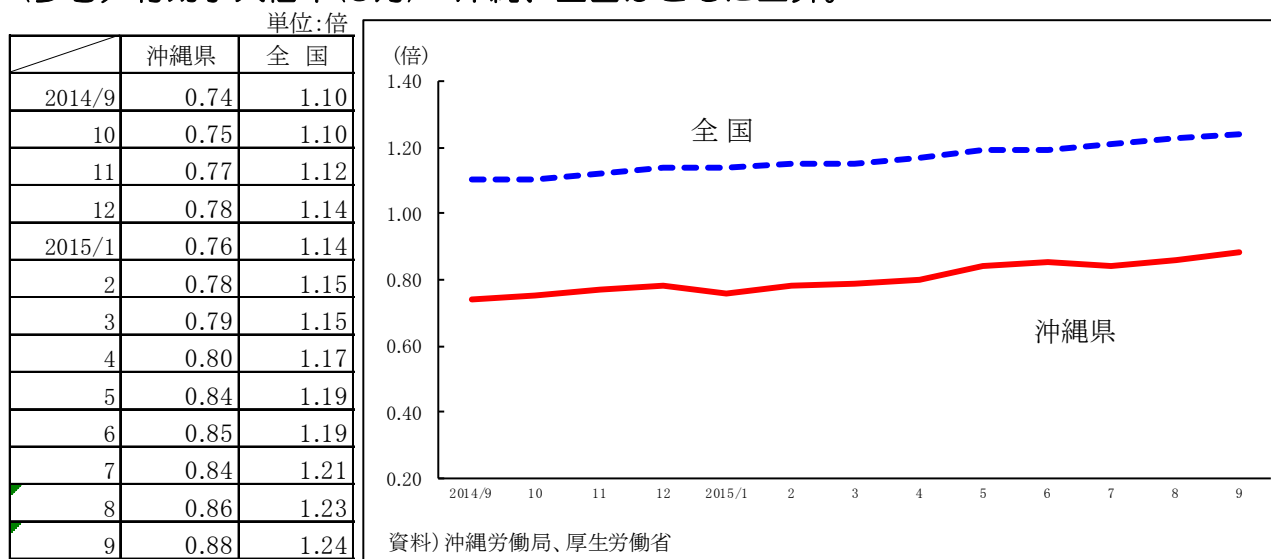


10月の企業倒産件数は、3件(うち、1億円以上の大口倒産は2件)発生し前年同月より8件少なく、負債総額は3億3,300万円と57.0%減少しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考)有効求人倍率(9月)…沖縄、全国はともに上昇。

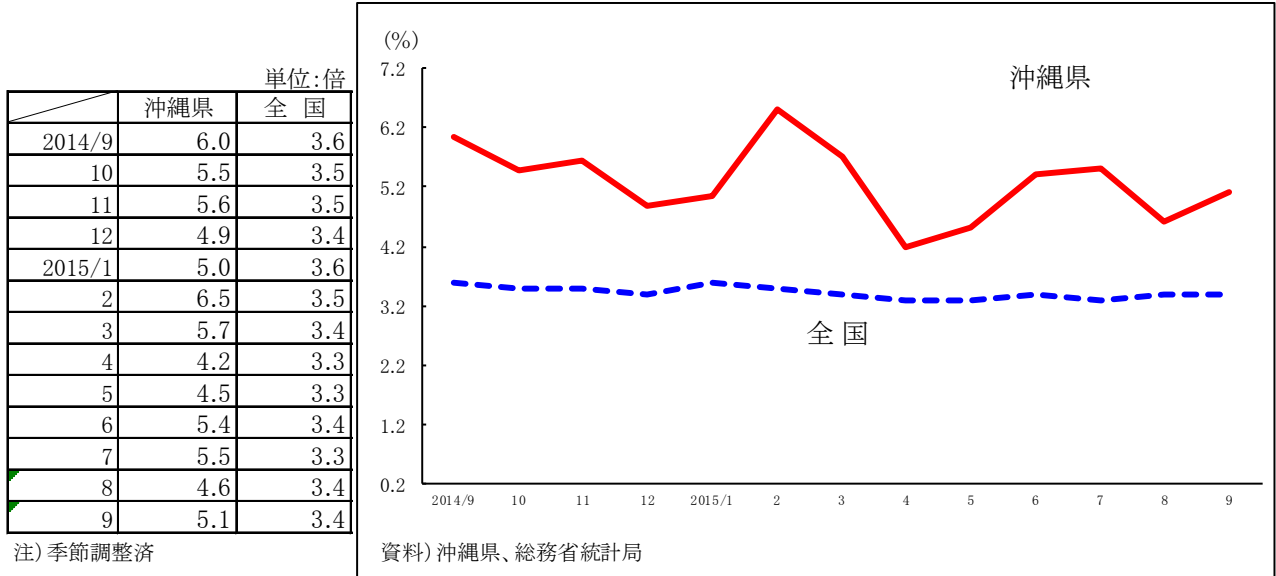


注) 季節調整済

注) 季節調整法は、センサス局法II(X-12-ARIMA)による

9月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比2.9%増の24,213人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.5%減の27,374人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.88倍となり前月より0.02ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(9月)…前月より上昇。



9月の完全失業率(季節調整値)は、5.1%となり前月より0.5ポイント上昇しました。